

令和2年度

# 決算報告書

(第1期)

自 令和 2年 10月 1日  
至 令和 3年 9月 30日

一般財団法人人生100年社会デザイン財団

# 貸借対照表

令和3年 9月30日現在

一般財団法人 人生100年社会デザイン財団

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	3,918,169		3,918,169
流動資産合計	3,918,169	0	3,918,169
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普 通 預 金	3,000,000		3,000,000
基本財産合計	3,000,000	0	3,000,000
固定資産合計	3,000,000	0	3,000,000
資産合計	6,918,169	0	6,918,169
II 負債の部			
1. 流動負債			
前 受 金	700,000		700,000
預 受 金	12,252		12,252
仮 受 金	2,000		2,000
未 払 法 人 税 等	70,000		70,000
流動負債合計	784,252	0	784,252
2. 固定資産			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	784,252	0	784,252
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄 付 金	3,000,000		3,000,000
指定正味財産合計	3,000,000	0	3,000,000
(うち基本財産への充当額)	( 3,000,000 )	( )	( 3,000,000 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( )	( 0 )
2. 一般正味財産	3,133,917		3,133,917
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( )	( 0 )
正味財産合計	6,133,917	0	6,133,917
負債及び正味財産合計	6,918,169	0	6,918,169

# 正味財産増減計算書

令和2年10月1日から令和3年9月30日まで

一般財団法人 人生100年社会デザイン財団

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
受取入金	[ 1,026,000 ]	[ 0 ]	[ 1,026,000 ]
法人会員受取入金	1,000,000		1,000,000
個人会員受取入金	26,000		26,000
受取会費	[ 3,756,000 ]	[ 0 ]	[ 3,756,000 ]
法人会員受取会費	3,500,000		3,500,000
賛助会員受取会費	100,000		100,000
個人会員受取会費	156,000		156,000
事業収益	[ 4,489,677 ]	[ 0 ]	[ 4,489,677 ]
研究・実証等事業収益	2,450,000		2,450,000
学習環境調査研究等事業収益	2,039,677		2,039,677
雑収	[ 60 ]	[ 0 ]	[ 60 ]
受取利息	60		60
経常収益計	9,271,737	0	9,271,737
(2) 経常費用			
事業費	[ 1,439,276 ]	[ 0 ]	[ 1,439,276 ]
研究・実証等事業費	60,000		60,000
学習環境調査研究等事業費	1,379,276		1,379,276
管理費	[ 4,698,544 ]	[ 0 ]	[ 4,698,544 ]
旅費交通費	2,000		2,000
通信費	2,144		2,144
消耗品費	8,408		8,408
租税公課	224,107		224,107
事務用品費	26,700		26,700
支払手数料	408,300		408,300
事務委託費	3,960,000		3,960,000
広告宣伝費	66,885		66,885
経常費用計	6,137,820	0	6,137,820
評価損益等調整前当期経常増減額	3,133,917	0	3,133,917
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,133,917	0	3,133,917
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,133,917	0	3,133,917
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	3,133,917	0	3,133,917
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取寄付金	[ 3,000,000 ]	[ 0 ]	[ 3,000,000 ]
当期指定正味財産増減額	3,000,000	0	3,000,000
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	0	3,000,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	6,133,917	0	6,133,917

## 財務諸表に対する注記

令和2年10月1日から令和3年9月30日まで

一般財団法人 人生100年社会デザイン財団

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項はない。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当事項はない。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産普通預金	0	3,000,000		3,000,000
小 計	0	3,000,000	0	3,000,000
特定資産				
小 計	0	0	0	0
合 計	0	3,000,000	0	3,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産普通預金	3,000,000	( 3,000,000 )	( 0 )	( 0 )
小 計	3,000,000	( 3,000,000 )	( 0 )	( 0 )
特定資産				
小 計	0	( 0 )	( 0 )	( 0 )
合 計	3,000,000	( 3,000,000 )	( 0 )	( 0 )

6. 担保に供している資産

該当事項はない。

7. 保証債務等の偶発債務

該当事項はない。

8. 重要な後発事象

該当事項はない。

財 産 目 録

令和3年9月30日現在

一般財団法人 人生100年社会デザイン財団

(単位: 円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現預金	手元保管	運転資金として	64,416
		普通預金 三菱UFJ銀行広尾支店	運転資金として No.0888654	3,853,753
<b>流動資産合計</b>				<b>3,918,169</b>
(固定資産) 基本財産	預金	普通預金 三菱UFJ銀行広尾支店	基本財産として No.0888654	3,000,000
				3,000,000
<b>固定資産合計</b>				<b>3,000,000</b>
<b>資産合計</b>				<b>6,918,169</b>
(流動負債)	前受金	法人会費	2口	300,000
		個人会費	8口(翌年度入会金2口含む)	100,000
		SLIM共同研究費	2021.10~3月分	300,000
		弁護士・税理士源泉税	2022年1月20日納期限分	12,252
		個人会費過入金	第3期会費収入へ充当	2,000
	未払法人税等	都税事務所 法人税等	均等割(固定税金)	70,000
<b>流動負債合計</b>				<b>784,252</b>
(固定負債)				0
<b>固定負債合計</b>				<b>0</b>
<b>負債合計</b>				<b>784,252</b>
<b>正味財産</b>				<b>6,133,917</b>

令和3年10月19日

## 監査報告書

令和2年10月1日から令和3年9月30日までの事業年度における会計及び業務の監査を実施したので、その結果を次のとおり報告する。

会計について、帳簿、預金通帳等の関係書類により監査を行った結果、いずれも正確に記帳並びに処理されているものと認める。

業務について、事業報告書等の関係書類により監査を行った結果、事業計画に基づき適正に運営され、その執行は妥当であると認める。

監査実施日時：令和3年10月19日

監査実施場所：名古屋市中区栄4丁目14-31

監事 春名 潤也

監事 松久 久也

第一期 事業報告書

令和2年10月1日～令和3年9月30日

一般財団法人 人生100年社会デザイン財団

## はじめに

本資料は、一般財団法人人生100年社会デザイン財団の第一期（令和2年10月1日～令和3年9月30日）の事業報告について述べたものです。

この法人は、急速に進展する長寿命化と少子化の社会において、増大する高齢者だけでなく、社会を構成するすべての人々が人生100年を生き抜くことを求められる新たな状況が生まれていることに鑑み、人の存在の根拠である自我や人格、そしてそれを支える発達という従来の産業社会のモデルを再検討します。また、新たな社会に相応しい人間像を探求するとともに、人生100年社会の本格到来に備え、この新たな人間像にもとづいて、斯かる社会のグランド・デザインを描き、関連する市場のあり方を含めた新たな社会を実現するための実践的課題を調査・研究します。その調査・研究成果を実証・実装し、かつモデル形成を促進して、人々の生活を生涯にわたって支え続けるための社会的な基盤を整備し、福祉と幸福の増進に寄与することを目的とします。

上記目的を達成するため、以下の事業を行います。なお、第1期は(1) 研究・実証等事業および(2) 学習環境調査研究等事業、(3) 産業形成支援開発等事業に対し事業を行いました。その他の事業については、第2期以降に順次企画・計画し、実施いたします。

### (1) 研究・実証等事業

人生100年社会にふさわしい人の在り方にかかわる研究・実証及び一般に向けた研究成果の発表と刊行事業。

### (2) 学習環境調査研究等事業

人生100年社会を生き抜くために必要な人生設計のための基本的学習環境の研究・整備並びに現状の課題に関する調査研究及び政策提言事業。

### (3) 産業形成支援開発等事業

人生100年社会における産業形成を醸成するための支援・能力開発及び研究会・講演会・シンポジウム・コンテスト等の開催事業。

### (4) 委託研究調査事業

人生100年社会の実現に向けた委託研究調査事業。

### (5) 資格制度事業

上記の研究成果に基づく人生100年社会に相応しい産業と市場形成の支援事業及び人材育成に基づく資格制度事業。

### (6) 国際交流促進事業

同様の課題を持つ近隣諸国との共同調査・研究及び国際交流の促進事業。

### (7) その他事業

この法人の目的を達成するために必要な事業。



## 目 次

### 1. 理事会・評議員会

- 1.1 理事会
- 1.2 評議員会

### 2. 委員会

### 3. 組織図

### 4. 会員の状況

### 5. 事業内容

- 5.1 研究・実証等事業
- 5.2 学習環境調査研究等事業
- 5.3 産業形成支援開発等事業
- 5.4 その他事業

## 1. 理事会、評議員会

### 1.1. 理事会

定例理事会 (第一回)	日付	令和2年10月2日
	場所	財団事務所、web会議 (zoom)
	出席者	理事4名・監事2名・事務局5名
定例理事会 (第二回)	日付	令和3年9月30日
	場所	財団事務所、web会議 (zoom)
	出席者	理事4名・監事1名・事務局5名

第二期以降は、12月に前期の決算承認のための定例理事会（第一回）、9月に来期予算承認のための定例理事会（第二回）を開催します。

### 1.2. 評議員会

定例評議員会 (第一回)	日付	令和2年10月2日
	場所	人生100社会デザイン財団 事務所
	出席者	評議員3名・理事1名・事務局2名

第二期以降は、12月に前期の決算承認のための定例評議員会（第一回）を開催します。

### 1.3 その他

役員・顧問会	日付	令和3年4月16日
	場所	財団事務所、web会議 (zoom)
	出席者	理事3名・評議員2名・監事1名・顧問12名・事務局5名

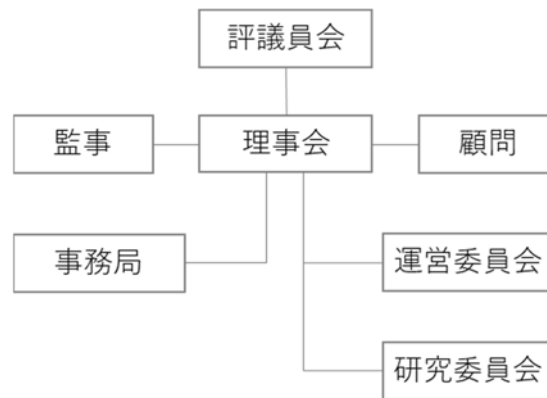
## 2. 委員会

委員会の発足は令和3年1月を予定しており、下記の委員会のもとに事業活動を行います。

運営委員会	日付	令和3年9月30日
	場所	財団事務所とweb会議 (zoom)
	役割	財団事業運営の主体とし、運営的諸活動を行う
	委員長	■■■■■
	幹事長	■■■■■
	委員	委員4名、顧問2名、事務局3名

研究委員会	日付	令和3年9月30日
	場所	財団事務所、web会議（zoom）
	役割	財団研究活動の主体とし、財団の中核研究並びに実装活動を行う
	委員長	■■■■■
	幹事長	■■■■■
	委員	委員2名、顧問2名、事務局4名

### 3. 組織図



### 4. 会員の状況

第1期会員の状況は、法人会員10社、賛助会員1社、特別会員5団体、個人会員13名、学生会員0名でした。

### 5. 事業内容

#### 5.1 研究・実証等事業

本事業では、人々の生涯にわたる生活を支えるプラットフォームの形を研究し、政策提言を含めた事業を進めます。同時に「学び」のあり方を検討して、新たな価値を生み出し続け、わくわくして人生100年を生き抜く人々の姿を明らかにするとともに、そのための事業を創生して、市場を通して社会に実装します。

##### (1) リンク研究事業

学び社会のデザインを「リンク」と称した領域融合的な研究組織に分け、それぞれの領域における課題を研究し、その解決に向けた方途を探り、それらをさらに総合化して、人

生 100 年社会のグランドデザインを描きます。

また、それらを社会実装する仕組みも同時に考えていきます。業種業態を超えた企業、自治体、行政そのほか多様な組織にご参画いただき、そこでの研究成果やフィードバックを踏まえての自由闊達で動的な交流、意見交換を通じて、具体的な事業プロジェクトを発想、創造します。

リンク活動は、令和 3 年 1 月から会員企業を中心に年 6 回程度の実施を予定していましたが、本年度は個別のリンクごとの活動となったため、全体の活動報告会は 1 回となりました。

#### ■リンク活動キックオフミーティングの開催

開催日	令和 3 年 2 月 26 日（金）18 時～19 時 30 分
方法	オンライン web 会議（Zoom）
参加者	21 名（財団関係者 3 名・会員企業 7 名・リンク活動関係者 6 名・事務局 5 名）
内容	1. 財団とリンク活動について 代表理事 ██████████ 2. リンク活動の概要説明 研究委員会 ██████████ 3. リンク活動紹介 「若者リンク（仮）」 理事 ██████████ 「新たなモビリティとまちづくりデザイン」 事務局 ██████████ 「市民・企業参加によるアセットマネジメントデザイン」 事務局 ██████████ 4. 各テーマについて意見交換・質疑

#### ■リンク インフラガーディアンズ

メンバー	██████████ 地域住民
メインテーマ	✓ 地域コミュニティの形成について、NPO、企業、地域住民が橋の清掃活動を通して地域と身近なインフラに興味関心をもつためのプログラムの支援やアドバイス。
活動実績	✓ 2021 年 7 月 17 日（土）にクリーンプロジェクトを実施、参加者数は 25 名。
今後	参加者を企業関係者だけでなく、地域住民も巻き込めるイベントも検討していく。

#### ■リンク ソーシャル・イノベーション（SI）リンク、対話（雑談）リンク

メンバー	SI リンクリーダー：██████████ 顧問、サブリーダー：██████████ 顧問 対話（雑談）リンクリーダー：██████████ 顧問、サブリーダー：██████████ 顧問 参加者：未定 ※事務局との企画段階
------	--

メイン テーマ	✓ ソーシャル・イノベーターが社会で循環し、社会変革の核となること、また、人生 100 年を生き抜くための「ソーシャル・イノベーション」と「対話（雑談）」の必要性を研究、更に講座として学ぶ方法の開発、実践。
活動実績	✓ 2021 年 9 月 13 日～9 月 29 日にトライアルを実施。 参加者：財団会員、関係者 20 名程度 内容：zoom による講義と参加者の交流を 3 回、各回 120 分程度行った。 [redacted] による講義、事例紹介、対話（雑談）を各回開催。
今後	第 2 期より本プログラムを開催する。

■リンク ミッションクレディア（多世代交流コミュニティ）

メンバー	リーダー：[redacted] 理事 参加企業：[redacted] 他未定
メイン テーマ	✓ 年配者の経験と人脈をと若い人とつなぎ、皆で自分の中にある『生きる力』に気がつき、同時に年配者が若い人から『学ぶ』時間となることを目的とする。参加者は共同作業により一つのプロジェクトを作り上げる。
活動実績	✓ 2021 年 7 月 30 日～8 月 16 日トライアルを実施。 参加者：財団関係者 8 名程度（シニア世代 3 名、若者世代 3 名、仲介役大学生 2 名）、事務局 3 名 内容：zoom による参加者の交流、講義を 4 回受講。次に若者によるシニアへのインタビューと全体プレゼンテーションを行った。
今後	第 2 期より、本プログラムを開催する予定。

■リンク 空間のあり方デザインリンク

メンバー	参加企業：[redacted]
メイン テーマ	✓ AAR 循環を基礎とした新しいオフィスのあり方の検討。 ✓ 空間の変化による利用者の変化を観察・記録。
活動実績	✓ 2021 年秋、[redacted] の休憩スペース兼会議スペースについて検討と改装を行った。 ✓ 当財団の活動拠点としても使用されることとなった。
今後	第 2 期では運用方法の検討や利用者の変化について観察・記録する。

■リンク 新たなモビリティサービスとまちづくり・インフラのデザインリンク

メンバー	リーダー：[ ] 氏（[ ]） アドバイザー：[ ] 氏（[ ]） 参加企業：未定
メイン テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ AI や自動走行を基盤とした新しいモビリティサービスが、高齢化したまちや地域に与えるインパクトを考察。</li> <li>✓ 解決策について検討・提案して、そのデザインモデルを実現。</li> <li>✓ 人間の『移動』の意味を今一度考察。</li> </ul>
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 2021年7月16日 [ ] にて [ ] アドバイザーによる講演を開催。テーマ：「MaaS が都市を変える」</li> <li>✓ 2021年7月16日 [ ] にてキックオフミーティングを開催。</li> </ul>
今後	第2期では意見交換会を2～3ヶ月に1回の頻度で進める予定。

■連携ハブ 人・組織のあり方研究会

メンバー	[ ] 15名、財団10名
メイン テーマ	✓ 新しい組織のあり方を [ ] と財団会員がともに議論し、実践に向けた取り組みを考えることを目的とする。
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 2021年8月3日、第1回研究会を実施。参加者：22名（うち、財団会員7名）、zoom方式にて開催。</li> <li>✓ 2021年9月27日、第2回研究会を実施。参加者：11名（うち、財団会員2名）、zoom方式にて開催。</li> </ul>
今後	[ ] とともに月1回の研究会を引き続き開催する。

(2) 共同研究事業

共同研究事業では、リンク活動による具体的な事業案件をもとにフィジビリティースタディーを通じて検証しながら社会実装、事業化していくというプロセスを展開します。

同時に会員企業等から個別テーマによる共同研究依頼を受けた場合、当財団の目的に沿った、方向を同じくする研究テーマであるか、代表理事による審査を行い、共同研究の実施を決定します。第1期は、岐阜羽島新産業インキュベーションセンター組成の研究、モビリティの共同研究が始まりました。

■共同研究 47 街区プロジェクト「岐阜羽島新産業インキュベーションセンター」組成の研究

期間	令和3年3月1日から令和4年3月31日まで
概要	人生100年社会の創造的・継続的な地域活動と人々の関係性を保証する仕組みの構築し、新産業創出、市民の学びの場、健康の実現を目指す。 岐阜羽島駅47街区において、「健康」を構成する、「運動（自転車）」「食」「対話」の3つのテーマを中心とした新たな空間、商業施設づくりプロジェクト。
活動実績	2021年3月運営委員会立ち上げ 3月～コンセプトづくり・事業デザイン 6月～実証に向けた調整会議 10月～プロジェクト実施予定 1月～研究とりまとめ
共同研究 パートナー	

■共同研究 新たなモビリティサービスとまちづくり・インフラのデザインの研究

期間	令和3年5月1日から令和4年3月31日まで
概要	新しいモビリティサービスが、高齢化したまちや地域に与えるインパクトを考察し、課題の解決策について検討・提案して、そのデザインモデルを実現する。
活動実績	2021年5月体制立上げ 5月～モデル地区のあるべき姿、方向性を検討 8月～課題解決の具体策提言 10月～プロジェクト実施予定 1月～研究とりまとめ
共同研究 パートナー	

## 5.2 学習環境調査研究等事業

これからの社会における『学び』とは、単に学習する、知識を得るといったことにとどまらず、人が他者と関係をつくりながら、その関係や社会の中に自らの存在や、新たな価値を見出すことを創造的に継続していき、それによって、「個人も企業・組織も自らの存在や価値を革新し、社会をつくり変え続ける動的なプロセス」と定義し、また産業社会から消費社会につづくこれからの社会となる100年社会を「『学び』社会」と定義し、その在り方

を研究し、その姿を明らかにし、学術的な基盤を構築していきます。

#### (1) 人生 100 年社会デザインフォーラム

当財団の代表理事■■■■を中心に、日本の「学識者や各界のリーダー」が集い自由闊達に意見発露し、「新しい（人生 100 年社会）のグランドデザインの指針」を提起する「場＝Forum」を創設し、■■■■と■■■■の協力を得て初年度は 8 回のフォーラムを開催しました。

フォーラムでは、学識者・各界リーダーがテーマについて意見を発表し、代表理事■■■■と対談を実施します。このフォーラムの総体を本財団が描く人生 100 年社会のグランドデザインの骨格とし、それらを元に社会実装を推進します。

#### ■ 人生 100 年社会デザインフォーラムの開催一覧：

配信期間	回数	テーマ	登壇者
'20.12.07 ～12.21	第 1 回	財団設立記念フォーラム	代表理事：■■■■ 代表理事：■■■■
'21.01.14 ～01.28	第 2 回	人生 100 年社会のデザインと ソーシャル・イノベーション (1)	顧問：■■■■ 代表理事：■■■■
'21.02.19 ～03.11	第 3 回	人生 100 年社会のデザインと ソーシャル・イノベーション (2)	顧問：■■■■ 代表理事：■■■■
'21.03.18 ～04.08	第 4 回	人生 100 年社会のデザインと社会インフラを考える	顧問：■■■■ 代表理事：■■■■
'21.04.22 ～05.06	第 5 回	人生 100 年社会のデザインと社会的共通資本と医療	理事：■■■■ 代表理事：■■■■
'21.05.27 ～06.10	第 6 回	100 年つづくデザイン物の循環と幸福の循環	ゲスト：■■■■ 代表理事：■■■■
'21.06.24 ～07.15	第 7 回	コミュニティデザインから見たこれからの社会	顧問：■■■■ 代表理事：■■■■
'21.07.20 ～08.20	第 8 回	100 年社会を作る市民の力	ゲスト：■■■■ 代表理事：■■■■

#### (2) 人生 100 年社会デザイン・ハブ

当財団の趣旨に賛同した■■■■からの委託事業として運営します。業種業態を超えた企業、自治体、行政のほか多様な組織が参画し、各メンバー企業から各社の課題、取り組み、やりたいことなど、このデザイン・ハブで討議し、事業展開に結び付けたいテーマでプレゼンテーションを実施します。活動を通じて、全体で事業化の方向性を探ります。今年度は年 10 回開催し、メンバーは 10 社。



■ デザイン・ハブ開催一覧：

配信期間	回数	発表者・テーマ
2020.11.17	第1回	●●●●●● のご紹介
		●●●●●● 「RaKuRoのご紹介とAI自動運転一人乗りモビリティから始まるまちづくりと事業モデル」
2021.12.15	第2回	●●●●●● 「読書困難者のための読書法提案」
		●●●●●● 「地方創生と企業のあり方」
2021.1.19	第3回	●●●●●● 「多摩ニュータウンを抱える多摩市の街づくり」
		●●●●●● 「地域シェアリング」について
2021.2.16	第4回	●●●●●● 「サウンドARと地域活性化の可能性」
		●●●●●● 「クアオルト（気候性地形療法）と地域活性化」
2021.3.16	第5回	●●●●●● 「多様な住民を巻き込むローカルデザイン」
2021.4.15	第6回	●●●●●● 「(直近で制作・監督された)『浦賀の映画学校』の試写・解説」
2021.5.14	第7回	●●●●●● ①「オンライン助産師相談」、②「アレルギー検査結果の閲覧アプリ&花粉症対策アプリ」について
		●●●●●● 「神奈川県の人寿100年時代への取り組み」について
2021.6.18	第8回	●●●●●● 「あだちコミュニティミックスの立ち上げと新たな地域福祉政策の展望について」
		●●●●●● 「リモートワークで運動量が減ったビジネスパーソン向け運動機会向上と@ホーム健康管理の施策」
		●●●●●● 「岐阜羽島再開発プロジェクトについて」
2021.7.16	第9回	●●●●●● 「Community by All」ー誰もが担い手になる組織・企業・コミュニティ
		●●●●●● 「インフラモビリティの公開分科会」に関する講演
2021.9.21	第10回	●●●●●● 「豊田市の中山間地域の開発プロジェクトのユニークな展開や昨今の新たな動き、そして新しい経済をつくり出す中山間村の可能性」について

		<div style="background-color: black; width: 100px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> 今年度の総括、財団の具体的な活動報告と10月以降の展開
--	--	--

### 5.3 産業形成支援開発等事業

今期は上記事業の他に、人生100年社会を題材にした子どもたちによる絵の募集と表彰、その他団体の協賛、会員募集や会員向け広報コンテンツ制作事業を実施しました。

#### (1) 表彰事業

子どもたちを対象に「未来」の社会、「つながる」社会、「学びあう」社会、「相手をおもんばかる」社会」をテーマに2020年9月に募集をかけ、計10人からの応募があった。全参加者に対し表彰状を送付しました。

#### (2) 協賛事業

2020年10月に開催された全国の高専生向けのコンテスト「インフラテクノロジーコンテスト」に共催団体として参加しました。

#### (3) 学術協力

によるセルフ健康ナビゲーターonline事業（スポーツ庁委託事業）に学術協力として参加しました。

### 5.4 その他事業

#### (1) 広報事業

財団の情報発信ツールとしてホームページの作成・整備を行った。2021年9月30日時点では合計約12,500アクセス数がありました。また、その他情報発信ツールとしてFacebook、TwitterなどSNS発信も進めています。

財団会員向けの情報発信として、各会員のメールアドレス宛に2021年4月よりメールマガジンを発刊。デザインフォーラムのお知らせとコラム、研究会などの活動報告をメインとしています。

また、財団活動や理念を広げるため、4月より月1回程度の頻度で一般の人向けに、デザインフォーラム登壇者の話をまとめたコラムを作成し、ホームページに掲載しました。